

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	90 県内企業「稼ぐ力」強化支援事業		新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(1)-7-②			
	商工労働部 労働政策課 雇用政策課			事業実施 (予定)年 度	R4~R13 年度		人材投資による生産性の向上
担当部課名			沖縄振興基本方針 該当箇所		Ⅲ-1-(4)		
事業内容	県内企業の「稼ぐ力」を強化する産業人材育成に関する取組の支援や、従業員の所得向上に取り組む企業の認証、認証制度を活用したコミュニティ形成やPRを通して、県内企業の付加価値と生産性向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 (    )						
予算額・執行額 【単位:千円】	予算の状況	(a) 当初予算額	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度
		(b) 予算現額	34,817		60,681		68,075
		(c) 増減額 (b-a)	34,817		60,681		68,075
		(d) 前年度繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	34,817	0	60,681	0	68,075
	B. 執行済額		31,406		56,456		63,565
	うち交付金充当額		25,125		45,166		50,852
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		90.2%		93.0%		93.4%
	予算の状況の説明		執行率は93.4%であり、主に補助金の執行残が発生したことによるものである。				
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	コンサルタント型研修・実践研修の受講企業数	目標	-	5社	-	-	
		実績	-	7社	-	-	
	集合研修(セミナー)の開催数	目標	-	6件	10件	10件	
		実績	-	11件	10件	10件	
	人材育成計画策定支援数	目標	-	-	10件	10件	
		実績	-	-	11件	20件	
	研修受講者の満足度	目標	-	-	80%以上	80%以上	
		実績	-	-	95%	93%	
認証企業数	目標	-	-	30社	30社		
	実績	-	-	59社	45社		
進捗状況説明	人材育成計画の策定を目的とした集合型研修を実施したことに加え、人材育成の重要性を普及・啓発するために専門講師を招いた啓発イベント等の実施により目標を達成した。 また、受講後に実施したアンケート調査による検証では、93%の受講者が「とても良かった」、「良かった」と回答しており目標を達成した。 令和6年度の認証企業数は、目標の30社を上回る45社となり、目標を達成した。						

成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)
			①集合型研修(セミナー)等の受講人数	目標		-	100人
		実績		-	202人	305人	
②人材育成計画を実践する企業数	目標			-	8社	10社	
		実績		-	9社	9社	
③研修の受講者の満足度(アンケート調査等)	目標			80%以上	80%以上	80%以上	
		実績		94%	95%	93%	
④認証企業の給与総支給額の上昇	目標			-	1.5%	1.5%	
		実績		-	11.7%	(確認中)	
達成状況説明	①県内企業の経営者・管理者層を対象に、自社の事業計画を再設計して生産性向上を目的とする人材育成計画策定を支援し、延べ305人が研修(セミナー)に参加した。 ②人材育成計画を実践するために要する研修費の補助支援に11社から応募があり、予算上限額に達したため9社となったものの、概ね達成した。 ③受講後に実施したアンケート調査による検証では、93%の受講者が「とても良かった」、「良かった」と回答している。 ④認証企業の令和6年度の取組状況等が記載された「評価基準遵守報告書」の提出が令和7年度となることから、実績値については、認証企業から同報告書の受理後、確認し入力する。						

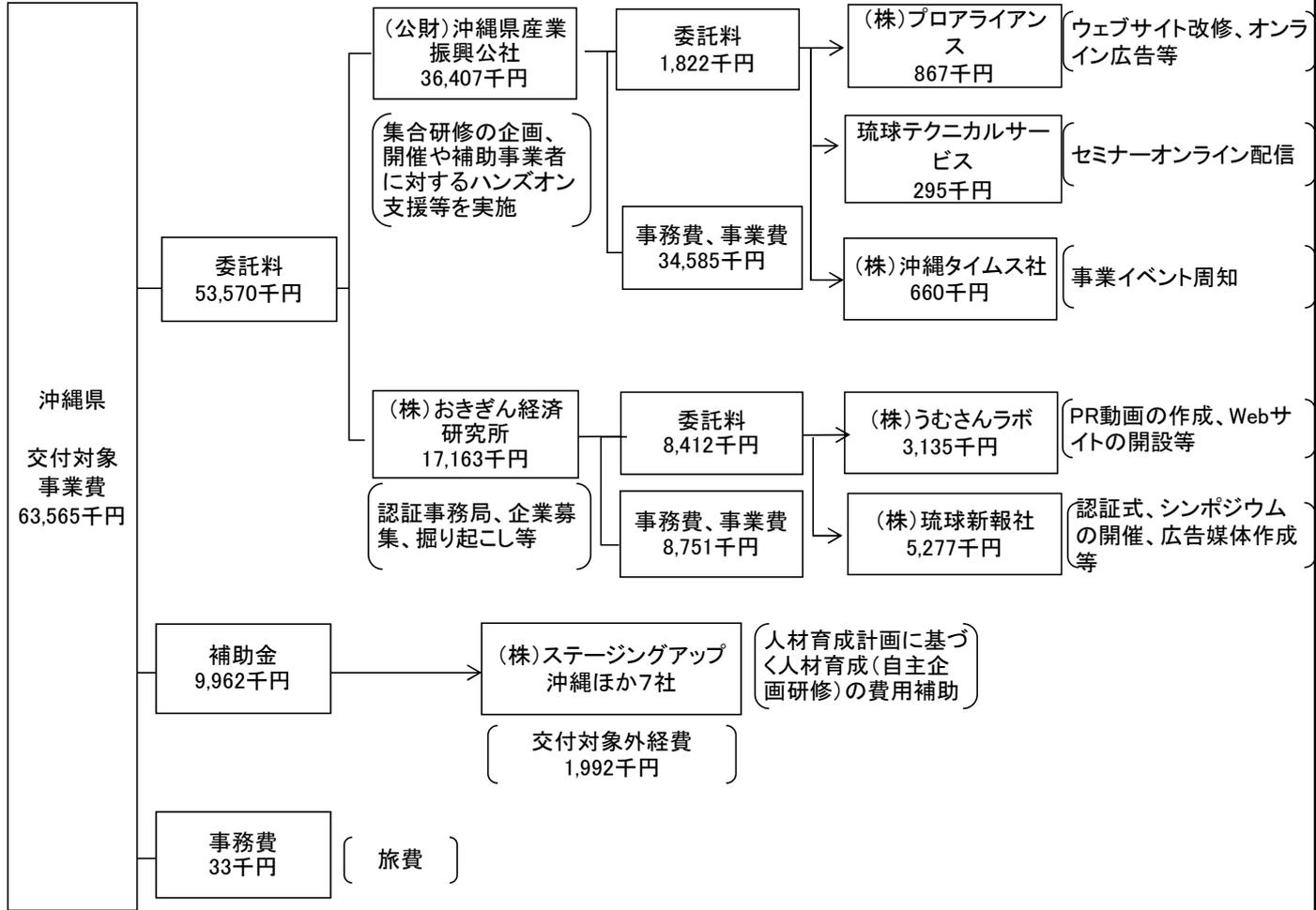
R6-No.90

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの県内企業において人材育成を担う人手が不足しており、経営層においても人材投資に対する意識が十分に高まっていない。</li> <li>人材育成の趣旨に賛同するものの、具体的な事業計画の策定方法がわからない、余力がないという企業もいる。</li> <li>県民の給与所得を向上させるためには、県内中小企業の取組が重要であることから、認証制度や認証企業の取組等について、県内の中小企業や県民の認知をさらに高める必要がある。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>県内企業の人材投資に対する意識向上を図るため、本事業を通して管理・経営者層を中心に人材育成に取り組む企業事例をモデルケースとして周知広報に活用する。</li> <li>企業毎の人材育成の課題に応じた対応ができるよう、人材育成を目的とした他事業や制度との連携を強化し、横断的な支援を行う。</li> <li>人材育成に意欲のある企業が適切に事業計画を検討し、持続的に成長できるよう、事業計画の策定や補助制度の活用等を支援する経営支援を実施する。</li> <li>認証企業のPR動画の作成、認証式等の開催等により、認証企業を広くPRするとともに、認証企業同士の関係構築や好事例の共有、所得向上の気運醸成を目的とした交流会等の開催や更なるインセンティブの拡充等により、当認証制度の更なる周知拡大と所得向上に取り組む企業の一層の拡大を図る。</li> </ul>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金 充当額	うち県 負担金	うち市町村 負担金	その他	交付対象 外経費
63,565	63,565	50,852	12,713	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により体制、実績、企画提案書等を助案した上で選定しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○補助事業者は、各分野の専門家等で構成する選定委員会では事業計画書等の優位性や妥当性について評価し選定しており、妥当な選定方法である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算は事業内容に見合った規模であり、適正である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から、支出等に関する書類により確認したところ、適正である。

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	123	データ活用プラットフォーム構築事業			新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	3-(1)-ア-①		
						リゾテックおきなわの推進による産業DXの加速化		
担当部課名	商工労働部	I	ITイノベーション推進課	事業実施（予定）年度	R4～R8	年度	沖繩振興基本方針該当箇所	
							Ⅲ-1-(2)	
事業内容	官・民のデータ収集等によるプラットフォームの内容充実や、セミナー・ハッカソン、実証支援等により、県内産業におけるデータ利活用に対する意識啓発に取り組むとともに、先進事例の創出や好事例の横展開を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（    年度）							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（    ）							
予算額・執行額【単位：千円】	予算の状況			R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	R5年度（繰越）	R6年度
		(a) 当初予算額		86,996		73,555		68,733
		(b) 予算現額		86,996		73,555		68,733
		(c) 増減額 (b-a)		0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額		0				
		A. 計 (b+d)		86,996	0	73,555	0	68,733
		B. 執行済額		86,878		73,207		66,746
		うち交付金充当額		69,502		58,565		53,397
		C. 次年度繰越額		0		0	0	0
		執行率（%）(B/A)		99.9%		99.5%		97.1%
予算の状況の説明		令和6年度においては、セミナーや事例発表会等に加えハッカソンを実施することで、より効果的にデータ利活用の普及啓発を図った。執行率は99.2%であり、概ね計画的に執行できた。						
活動目標（指標）及び進捗状況	R6活動目標（指標）		進捗状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	①データ利活用セミナーの開催(3回)	目標		-	-	3回	3回	
		実績		-	-	3回	3回	
	②ハッカソンの開催(1回)	目標		-	-	-	1回	
		実績		-	-	-	1回	
進捗状況説明	データ利活用セミナーを3回、ハッカソンを1回実施し、目標を達成した。							
成果目標（指標）及び達成状況	R6成果目標（指標）		基準値（〇〇年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（R7年度）	
	①データ活用プラットフォームのサービス利用企業数	目標		10	15	20	20	
		実績		15	26	25	-	
	②民間データ登録数	目標		5種類	5種類	5種類	5種類	
		実績		5種類	5種類	5種類	-	
	達成状況説明	①データ利活用セミナーの実施等による事業の周知及び潜在ニーズの掘り起こしにより、サービス利用企業数は25社となり目標を達成した。 ②民間のデータ保有者等へ働きかけることでデータの提供をうけ、民間データを5種類登録し、目標を達成した。						

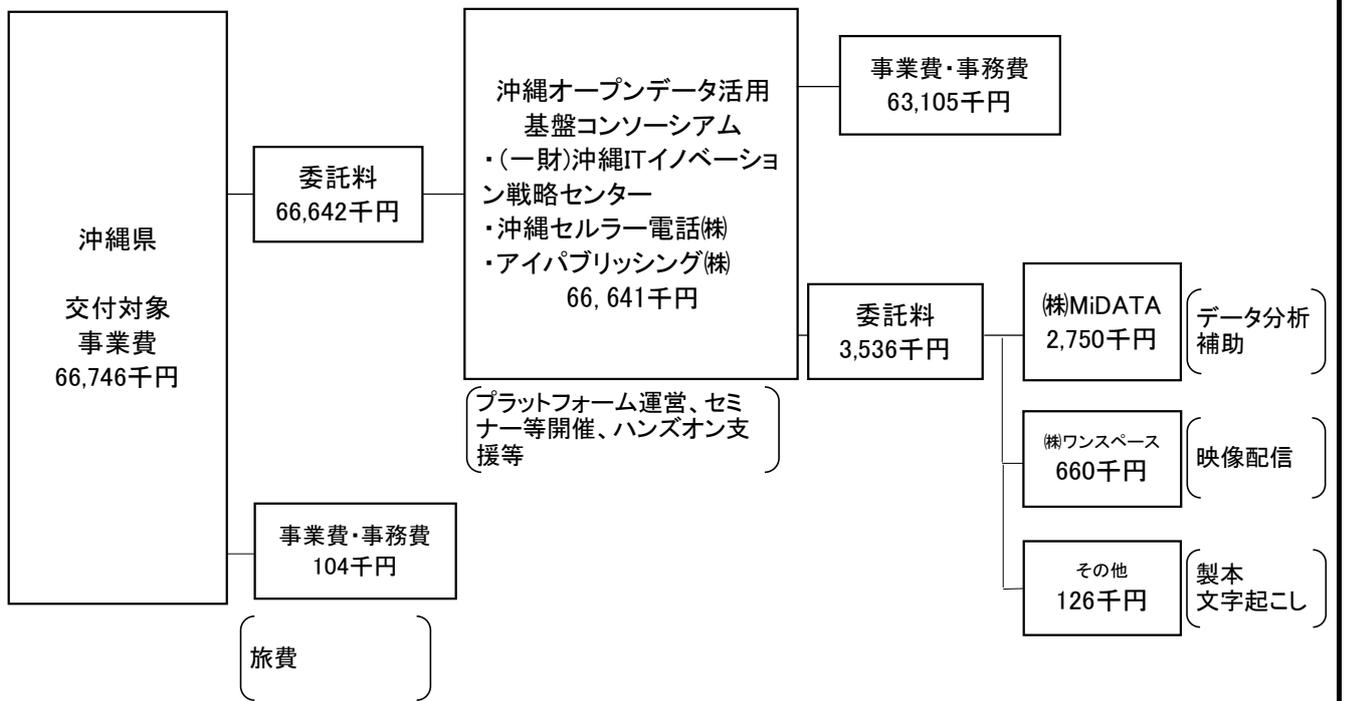
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①より多くの企業等がデータ利活用に取り組めるような施策を実施する必要がある。 ②行政・民間が保有するデータのオープン化や継続更新を進めていく必要がある。	①プロジェクトベースの成功事例の創出・横展開に加え、持続的なデータ利活用に向けて体制構築に取り組む企業を増やす必要がある。 ②実用事例での利活用ニーズを示しながら普及啓発を行うとともに、データ収集のハードルを下げることで、データ収集及びオープン化等への理解促進が期待できる。

**今後の取り組み方針**

①1つのプロジェクトでのデータ利活用の実証にとどまらず、企業として継続的にデータ利活用に取り組む体制を構築する企業を支援するとともに事例として公開することで、横展開を図る。  
 ②イベント等でデータを収集できるツールを構築・配布することで、データ収集のハードルを下げるとともに、収集したデータをオープン化することで、オープンデータの充実を図る。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
66,746	66,746	53,397	13,349	0	0	0

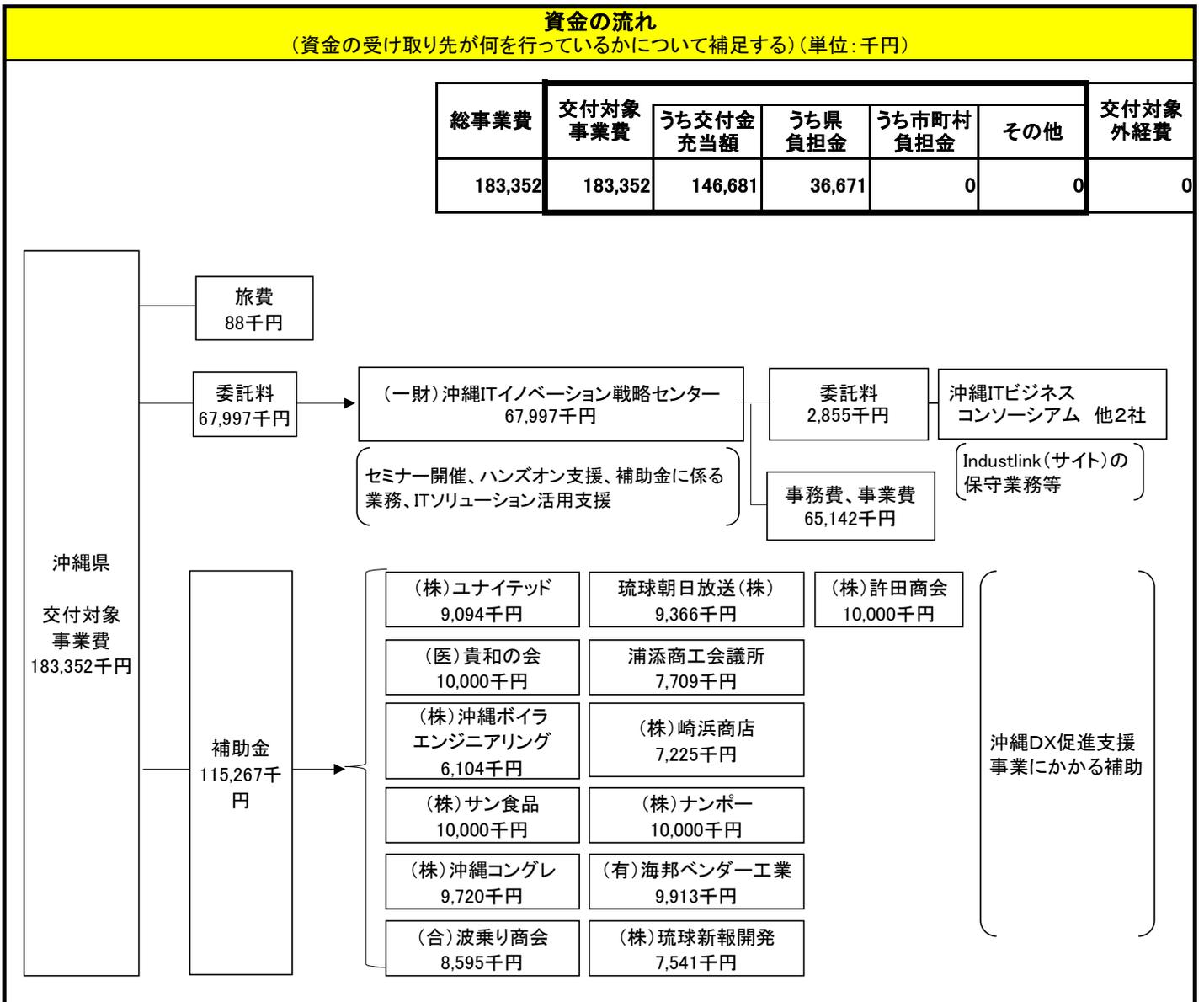


資金の流 使途の点 検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企画提案プロポーザルにて選定したため妥当であったと考える。 ○予算は事業内容に見合った規模であり、適正である。 ○費目・使途については、事業報告書等を検査し、適正であることを確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

## 令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

<b>事業番号・事業名</b>	124	沖縄DX促進支援事業					新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(1)-ア-①
<b>担当部課名</b>	商工労働部	ITイノベーション推進課	<b>事業実施(予定)年度</b>	R4~R6	年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	リゾテックおきなわの推進による産業DXの加速化
<b>事業内容</b>	県内企業・団体が県内IT企業と連携して実施するDXに向けた取組を支援し、デジタル技術やデータを活用したビジネスやサービス創出などDXに向けた県内企業の取組を促進することで県内全産業のDXを加速させ、企業の稼ぐ力の向上を図る。							
<b>効果発現年度</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度 (R8年度)							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	152,060		201,065		189,723	
		(b) 予算現額	152,060		175,304		189,723	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 25,761	0	0	
		(d) 前年度繰越額						
		A. 計 (b+d)	152,060	0	175,304	0	189,723	
		B. 執行済額	144,521		171,301		183,352	
		うち交付金充当額	115,617		137,041		146,681	
		C. 次年度繰越額	0		0	0	0	
		執行率 (%) (B/A)	95.0%		97.7%		96.6%	
		予算の状況の説明	・執行率は96.6%であり、概ね計画的に執行できた。					
<b>活動目標(指標)及び進捗状況</b>	R6活動目標(指標)		進捗状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	DXハンズオンによる計画策定支援数	目標		10件	20件	20件		
		実績		10件	20件	20件		
	経営者向けセミナー・説明会の開催数	目標		5回	5回	3回		
		実績		5回	5回	3回		
進捗状況説明	・DXハンズオンによる計画策定支援について、目標値であった20者に対して支援を行い、目標値を達成した。 ・経営者向けセミナーについて全3回実施し、目標値を達成した。							
<b>成果目標(指標)及び達成状況</b>	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)	
			目標		5回	5回	3回	15回
	①経営者向けDXセミナーの実施	実績		5回	5回	3回		
		目標		10件	12件	12件	32件	
	②DX促進補助金による取組支援	実績		10件	11件	13件		
		目標		15件	20件	20件	55件	
	③DX取組促進に向けたIT企業と他産業のマッチング支援、DXサポート等のハンズオン支援の実施	実績		15件	20件	20件		
		達成状況説明	①経営者セミナーの開催により、企業のDXに対する理解が深まり、課題解決のためにハンズオン支援や補助金事業に結び付けることができた。 ②補助金による取り組み支援について、実績13件と目標値を達成した。 ③相談窓口の活用等による補助事業者とIT企業とのマッチング支援や、DX計画策定のハンズオン支援ともに目標値を達成した。					

<b>取組の検証</b>	<b>推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)</b>	<b>改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)</b>
	<p>・ハンズオン支援の過程において、対応可能なベンダーの選定プロセス等を追加し、計画の実現可能性を向上する支援内容の充実を検討する必要がある。</p> <p>・本事業セミナー参加者数及び補助金相談数、申請数から、DX支援の需要は高く、企業のニーズに応じた支援策の検討が必要である。</p>	<p>・県内企業のDXに対する関心度を踏まえて、今後県内全体におけるDX推進の更なる気運醸成に繋げるとともに、知識の吸収に加えて、DXへの着手など企業の具体的な取組を促すような支援が必要である。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・過年度に本事業補助金を活用した企業や計画策定支援を受けた企業を訪問し、アンケートによる聞き取りを実施する等の事後フォローを実施する。</p> <p>・これまでの県内企業のDX推進に向けた取り組みに対する支援に加えて、データを活用した業務効率化や、業界の課題解決に向けた取組など、取組内容に応じたDX推進への支援を実施する。</p>		



評価	点検項目	評価に関する説明
<b>資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価</b>	○ 支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は公募型プロポーザル方式により体制、実績、事業計画等を勘察した上で選定しており、妥当である。
	○ 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算は事業内容に見合った規模であり、適正である。
	○ 受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は一定の費用を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であったと考える。
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から、支出等に関する書類により確認したところ、適正である。

## 令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	98	産業間連携おきなわブランド戦略推進事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(1)-イ-①			
担当部課名	商工労働部 グローバルマーケット戦略課	事業実施 (予定)年度	R4~R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	産業間連携強化等による生産性 向上及び域内経済循環の促進		
事業内容	地域の稼ぐ力の向上を目的に令和6年3月に策定した「おきなわブランド戦略」を実効性のあるものとするため、県民及び県内事業者の理解・浸透を図り、おきなわブランド戦略に沿った取組を行ってもらうためにプロモーションやセミナーの開催などを行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 (    )						
予算額・執行額 【単位:千円】		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	22,287		21,344		32,602
		(b) 予算現額	22,287		21,344		32,602
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計 (b+d)	22,287	0	21,344	0	32,602
	B. 執行済額		21,981		21,026		32,593
	うち交付金充当額		17,584		16,820		26,074
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		98.6%		98.5%		100.0%
予算の状況の説明		執行率は100%であり、概ね計画どおり実施できた。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	ブランド戦略に基づいたプロモーション		目標			実施	
		実績			2件		
進捗状況説明		・令和6年3月に策定したブランド戦略について、「沖縄観光感謝の集い」及び「おきなわブランド戦略に関するトークイベント」を実施し、目標値を達成した。					
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)
	ワークショップ等の参加人数		目標	50名以上	50名以上	50名以上	
			実績	95名	132名	195名	
	達成状況説明		・ブランド戦略を官民に広げるため、5回のセミナー及びワークショップを開催した。参加者は5回で195名となり、目標を上回った。				

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①おきなわブランド戦略を実効性のあるものにするため、引き続き県民や民間事業者(※インナー)の理解・共感を得ながら浸透を図る必要がある。	①県民や民間事業者とのブランドコンセプトの共有を図るため、引き続きセミナーやワークショップ等を開催する。
	②引き続き、民間事業者の事業活動における本戦略の活用を進める必要がある。	②民間事業者等にブランド戦略を活用した取組を促すため、取組事例集を作成のうえ県ホームページ等に掲載し、産業間連携マッチングを促進する。
今後の取り組み方針		
<p>①引き続き、おきなわブランド戦略を実効性のあるものにするため、インナーの理解・共感を得ながら浸透を図る。</p> <p>②引き続き、民間事業者等によるブランド戦略の活用を進めるための取組を実施する。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
32,593	32,593	26,074	6,519	0	0	0

```

graph LR
    A[沖縄県  
交付対象  
事業費  
32,593千円] --> B[委託料  
31,163千円]
    A --> C[委託料  
990千円]
    A --> D[事務費  
440千円]
    B --> E["(公財)流通経済研究所  
31,163千円"]
    C --> F[株式会社  
990千円]
    D --> G["旅費 440千円"]
    E --- H["おきなわブランド戦略推進委託業務"]
    F --- I["おきなわブランド戦略セミナー及び  
インナーブランディングアドバイザー  
ザリー委託業務"]
    G --- J[" "]
  
```

資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○プロポーザル方式により広く公募を行い審査会を経て委託事業者を選定する等、適切に契約を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

## 令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	99	稼ぐ企業連携支援事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	3-(1)-イ-①			
				産業間連携強化等による生産性向上及び域内経済循環の促進			
担当部署	商工労働部 グローバルマーケット戦略課		事業実施（予定）年度	R4～R13	年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(7)
事業内容	<p>①事業者が連携して取り組む収益力や生産性の向上に資するプロジェクトを、中小・小規模事業者等から広く公募・採択し、採択企業等に対するハンズオン支援を行うとともにプロジェクトの推進に要する経費を補助する。</p> <p>②中小企業を支援する関係機関等との連携や、各種マッチングサイト等を活用し、企業連携のマッチングについても支援する。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度（事業終了翌年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】	予算の状況	(a) 当初予算額	R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	R5年度（繰越）	R6年度
		(b) 予算現額	139,932		172,932		140,075
		(c) 増減額 (b-a)	139,932		172,932		140,075
		(d) 前年度繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	139,932	0	172,932	0	140,075
	B. 執行済額		103,605		156,733		131,443
	うち交付金充当額		82,884		125,386		105,154
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率（%）(B/A)		74.0%		90.6%		93.8%
	予算の状況の説明		・R5年度から32,857千円の予算減に伴い、支援件数の維持や効率化等に取り組んだ結果、93.8%の執行となった。				
活動目標（指標）及び進捗状況	R6活動目標（指標）		進捗状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	プロジェクトの支援件数		目標	-	10件	10件	10件
			実績	-	10件	14件	12件
進捗状況説明		・12件（新規7件、継続5件）の企業連携プロジェクトの支援を行い、目標を達成した。					
成果目標（指標）及び達成状況	R6成果目標（指標）		基準値（〇〇年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（〇〇年度）
	連携企業の労働生産性向上		目標	-	2.0%	2.0%	2.0%
			実績	-	22.3%	3.4%	7.7%
	達成状況説明		令和5年度補助終了プロジェクトの状況調査を行ったところ、付加価値額や事業効率性の向上等により目標値を上回った。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・零細企業が多いため、事業執行体制など、経営基盤の強化を図りつつ、プロジェクトの推進に取り組んでいく必要がある。</li> <li>・補助終了後にプロジェクトが持続的に発展するような支援が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より効果、実現可能性の高いプロジェクトの掘り起こしを行うとともに、事業計画の事前相談、ブラッシュアップに注力し、プロジェクトの適格性や有効性等、精度を高めたうえで、事業を推進していく必要がある。</li> <li>・プロジェクトの推進力の向上及び持続的発展、自走化を促進するため、より充実したハンズオン(伴走型)支援に取り組んでいく必要がある。</li> <li>・企業間の連携や、関係機関との連携を促すことで、県内産業への波及効果を高めていく必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の事前相談やワークショップの実施等により、課題の整理及び計画のブラッシュアップを行い、効果、実現性の高いプロジェクトの掘り起こしを行う。</li> <li>・プロジェクトの推進力向上及び持続的発展を促進することや、企業間・関係機関との連携を促すことなど、県内産業への波及効果を高めるため、ハンズオン(伴走型)支援に取り組む。</li> </ul>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
151,117	131,443	105,154	26,289	0	0	19,674
<pre> graph LR     A[沖縄県 交付対象事業費 131,443千円] --&gt; B[委託料 42,064千円]     A --&gt; C[補助金 89,317千円]     A --&gt; D[事務費 62千円]     B --&gt; E[公益財団法人 沖縄県産業振興公社 42,064千円]     C --&gt; F["(株)トータルライフサポート 研究所 他11社 89,317千円"]     E --- G["プロジェクト推進にかかるハンズ オン支援等の委託業務"]     F --- H["稼ぐ企業連携支援事業補助金 生産性向上や域内経済循環に資す るプロジェクトのに要する経費を補"] </pre>						
資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目		評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託事業者について、プロポーザル方式により広く公募を行い、審査会を経て、契約を行った。また、補助事業者は、プロジェクトの公募を行い、審査会の審査により採択しており、妥当であったと考えている。</li> <li>・受益企業も、1割以上を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。</li> </ul>		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					

## 令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

<b>事業番号・事業名</b>	109	地域ビジネス力育成強化事業					新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(1)-イ-④
<b>担当部課名</b>	商工労働部 中小企業支援課	<b>事業実施(予定)年度</b>	H27~R9	年度			沖縄振興基本方針 該当箇所	魅力あるまちづくり・地域商業 活性化に向けた環境整備
<b>事業内容</b>	地域を支える中小企業の持続的発展のため、地域ぐるみの中小企業振興等に取り組む地域間連携体の活動を支援し、地域連携の取り組みを促進する。							
<b>効果発現年度</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(事業終了翌年度)							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
		(b) 予算現額	51,698		46,528		37,688	
		(c) 増減額(b-a)	51,698	0	46,528	0	37,688	0
		(d) 前年度繰越額	0	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	51,698	0	46,528	0	37,688	
		B. 執行済額	45,657		44,715		36,723	
		うち交付金充当額	36,526		35,772		29,378	
		C. 次年度繰越額			0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	88.3%		96.1%		97.4%	
		予算の状況の説明	R6の執行率は97.4%であり、主に委託料及び補助金の執行残によるものである。					
<b>活動目標(指標)及び進捗状況</b>	R6活動目標(指標)		進捗状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	地域間連携体会議	目標	-	24回	24回	24回		
		実績	-	92回 (3連携体合計)	126回 (3連携体合計)	138回 (3連携体合計)		
	ハンズオン支援実施	目標	-	通年	通年	通年		
		実績	-	通年	通年	通年		
	地域間連携体活動の情報発信(WEBやSNSを活用した発信)	目標			40回 (3連携体合計)	54回 (3連携体合計)		
		実績			40回 (3連携体合計)	69回 (3連携体合計)		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域間連携体の自立にむけた活動支援に係る連携体会議の開催及び現地訪問について、1連携体で24回実施する計画にたいし、3連携体で138回実施し、連携体会議を通して事業の進捗等のハンズオン支援につなげた。</li> <li>・地域連携体へのハンズオン支援を通年行う計画に対し、地域連携体の支援3件を通年実施した。</li> </ul>							
<b>成果目標(指標)及び達成状況</b>	R6成果目標(指標)			基準値(〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(_R7年度)
					1件	1件	1件	
	事業化に向けた試作品の完成	目標		4件	4件	3件		
		実績						
	[R7 成果目標]	補助を開始した地域間連携体の自立、持続化件数	目標					1件中1件以上
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の3地域(名護市及び北谷町、南城市及び八重瀬町、南大東村及び北大東村)において中小企業振興等のプロジェクトに取り組む地域間連携体へのハンズオン支援を行った。</li> <li>・各連携体において、自走化にむけ、特産品の開発や、昨年度開発した特産品のブラッシュアップや販売を行ったほか、地域の取組を広く発信するため、プロモーションへの参加やSNS発信等を行った。</li> </ul>							

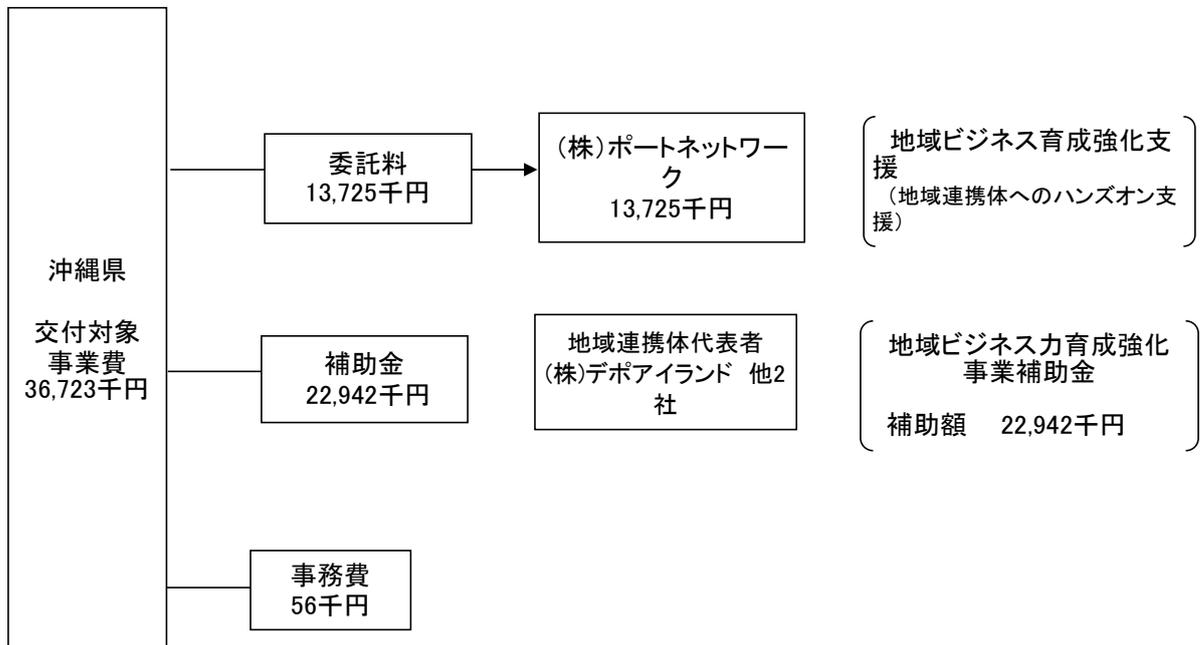
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域間連携体の自立・持続化に向け構成員の各々の連携が必要である。また、連携体の取組が地域内事業者に共有・共感され、連携体外の事業者や地域住民との連携につなげていく必要がある。</li> <li>・地域間連携体の自立・持続化のためには、連携体の運営に必要な実施体制の強化や持続可能な組織づくりを行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携体をマネジメントする人材を各地域で育成することで、地域連携体の自立・持続化に向けた取組が効果的に行われることが期待できる。</li> <li>・地域連携体の構成員に限らず、地域の多くの事業者を連携体のイベントや会議に参加してもらえよう巻き込んで行く。</li> <li>・年度毎の成果目標等を連携体内で十分議論、共有する。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・地域間連携体をマネジメントする人材を各地域で育成することで、地域間連携体の自立・持続化に向けた取組が効果的に行われることが期待できる。
- ・地域の多くの事業者を地域間連携体の活動に関わってもらうため、連携体のイベントや会議の開催に当たっては、連携体外への事業者や地域住民への呼びかけを行う。
- ・成果目標等を連携体内で十分議論、共有するよう各連携体の構成員全てが集まって行う全体会議の開催を定期的に行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
45,530	36,723	29,378	7,345	0	0	8,807



資金の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域ビジネス力育成強化事業における委託事業者は、組織体制、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当と考えている。また、補助事業の採択に当たっては、事業内容を審査会にて審査の上、決定しており、妥当と考えている。</li> <li>・費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</li> <li>・受益企業も、1~2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	110	小規模事業者等デジタル化支援事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)		3-(1)-ウ-①		
			支援機関による経営改善の支援				
担当部課名	商工労働部 中小企業支援課	事業実施 (予定)年度	R2~R8	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(7)	
事業内容	<p>県内企業の99%を占める小規模事業者を含む中小企業の労働生産性は全国最下位であり、昨今の人手不足問題も含め、中小企業を取り巻く環境は厳しい状況となっている。本事業を実施することでIT導入による業務改善を促進し、人手不足への対応や労働生産性の向上を図ることで沖縄経済の自立・戦略的発展に繋げる。</p> <p>(具体的な取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IT利活用調査</li> <li>・専門家派遣(IT導入に関する相談支援)</li> <li>・ITツール等を導入する事業者に対し、経費の一部を補助する</li> </ul>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R10年度)    ※事業終了年度からフォローアップ調査を5年間実施することとしている。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度
		(b) 予算現額	81,553		72,004		74,323
		(c) 増減額(b-a)	81,553		72,004		74,323
		(d) 前年度繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	0	0	0	0	0
	B. 執行済額		65,212		68,202		72,410
	うち交付金充当額		52,168		54,562		57,928
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		80.0%		94.7%		97.4%
	予算の状況の説明		執行率97.4%となっているが、これは補助金採択後の辞退等が含まれているためであり、概ね計画的に執行できたものと考えている。				
活動目標 (指標) 及び進捗状 況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	IT利活用調査	目標	300件	1000件	100件	100件	
		実績	118件	177件	170件	155件	
	IT専門家による企業訪問を実施	目標	100社	150社	100社	100社	
		実績	64社	86社	100社	100社	
補助金の交付件数	目標	-	-	45件	54件		
	実績	-	-	70件	62件		
進捗状況説明	活動目標であるIT利活用調査の実施件数はチラシ・Webでの周知を行っており、引き続き周知・回収件数の増に努める。 企業訪問については、補助金支援実績の増を考慮すると十分な規模・内容となっていたものと考えられる。						

成果目標 (指標) 及び達成状 況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R7年度)
	【R6成果目標】 デジタル化支援を行った企業の件数:54 件以上	目 標		50件	50件	54件	-
		実 績		64件	70件	62件	-
	【R6成果目標】 デジタル化支援を行った企業の付加価値 額向上:3%以上	目 標		3%	3%	3%	-
		実 績		19%	12%	7%	-
【R7成果目標】 デジタル化支援を行った企業の件数:60 件以上	目 標					60件	
【R7成果目標】 デジタル化支援を行った企業の付加価値 額向上:3%以上	目 標					3%	
達成 状 況 説 明	成果目標である補助件数については、実績が62件で目標を達成した。 付加価値額向上については、補助を行った62社中62社で増加。全体で7%の増加となった。						

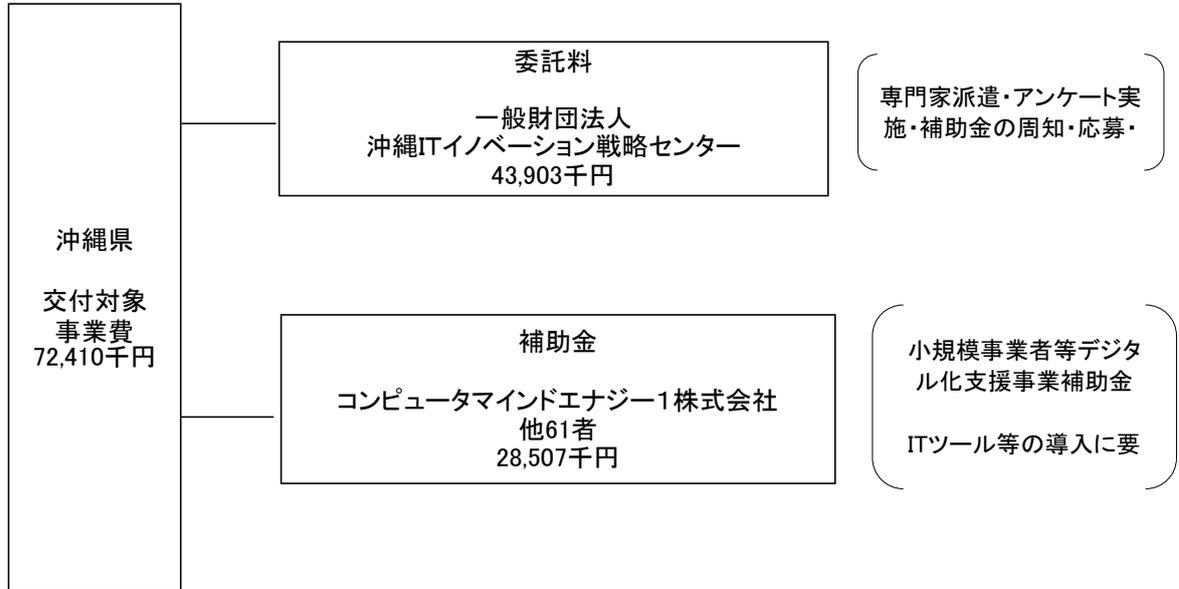
R6-No.110

取 組 の 検 証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT導入に対する事業者ニーズを正確に把握するよう努める。</li> <li>・IT導入の必要性和有用性の啓発について、引き続き取り組む。</li> <li>・企業訪問等ハンズオン支援を重点的に行っていく。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会等、各支援機関と連携し更なる事業の周知徹底を図り、IT投資が必要であると考えられる事業者の掘り起こしに努めるとともに導入までの伴走支援体制の強化を図る。</li> </ul>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費					交付対象 外経費
		うち交付金 充当額	うち県 負担金	うち市町村 負担金	その他	
72,410	72,410	57,928	14,482	0	0	0

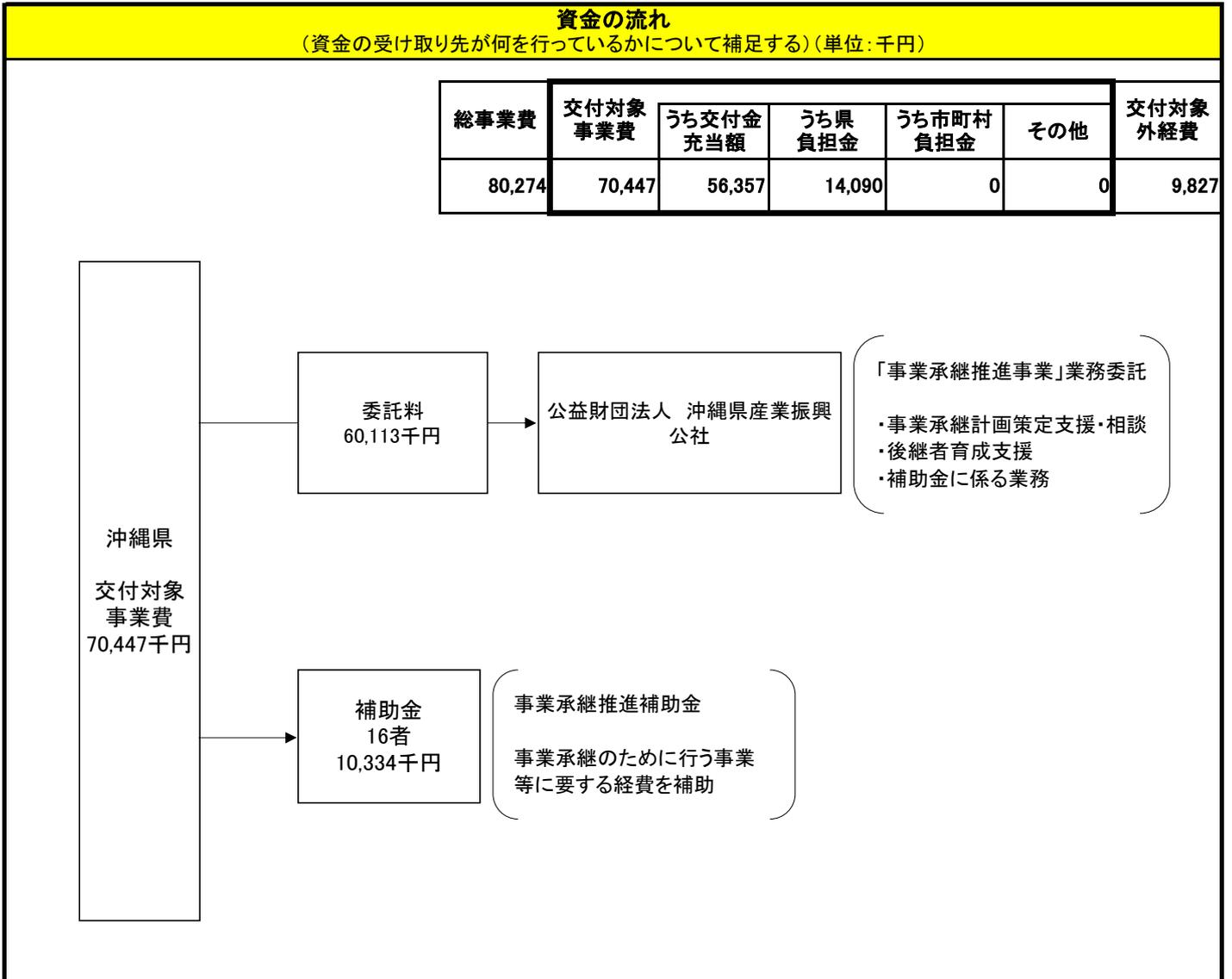


資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・小規模事業者等IT導入支援事業における委託事業者は、組織体制、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。また、補助事業の採択に当たっては、事業内容を審査会にて、審査の上、決定しており、妥当であったと考えている。 ・予算規模及び費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	111	事業承継推進事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)		3-(1)-ウ-④		
					事業継承・廃止に伴う経営資源の引き継ぎの円滑化		
担当部課名	商工労働部 中小企業支援課		事業実施 (予定)年度	R3~R8	年度	沖繩振興基本方針 該当箇所	
						Ⅲ-1-(7)	
事業内容	承継後の再成長・発展見据えた戦略的な事業承継を促進するため、経営課題・経営資源の見える化等踏まえた事業承継計画素案の策定支援や再成長を見据えた後継者育成支援を行うとともに、承継計画やM&Aの実行に対する経費の補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和7年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】			R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度
	予算 の 状況	(a) 当初予算額	91,400		91,400		74,035
		(b) 予算現額	91,400		91,400		74,035
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	91,400	0	91,400	0	74,035
	B. 執行済額		74,709		84,818		70,447
	うち交付金充当額		59,767		67,854		56,357
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		81.7%		92.8%		95.2%
予算の状況の説明		執行率は95.2%となっており、概ね計画通りに執行できたものと思料する。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	【R3目標】 経営指導員向けM&A養成講座の実施	目標	2回	-	-	-	
		実績	2回	-	-	-	
	事業承継計画素案の策定や事業承継推進補助金申請に向けた事前相談等支援	目標	-	400件	400件	320件	
		実績	-	400件	650件	615件	
	後継者育成塾の実施	目標	-	1クール	1クール	1クール	
実績		-	1クール	1クール	1クール		
進捗状況説明	・活動目標については、計画に基づいた事業展開の結果、2項目とも目標を達成した。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R7年度)
	事業承継計画素案の策定支援件数	目標		30件	30件	20件	20件
		実績		25件	21件	21件	-
	事業承継推進補助金による支援企業数	目標		15者	15者	12者	12者
		実績		14者	16者	16者	-
	【R6成果目標】 R5年度に事業承継補助を活用した企業のうち、1割が事業承継達成	目標		-	-	9者	-
達成状況説明	・成果目標である事業承継計画素案の策定支援件数及び事業承継推進補助金による支援企業数については、いずれも実績値が目標値を上回り達成したものと思料する。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業承継に関する相談の問い合わせは多数あるものの、そのうち事業承継計画の作成を申し出た事業者は数社であったこと等から、事業承継計画の重要性や必要性の認知度の向上を図っていく必要がある。	事業承継計画の重要性や必要性について認知度の向上を図るため、県内の各支援機関と連携し、事業の周知を図るとともに、適切な事業展開により後継者不在率の改善に取り組んでいく必要がある。
<b>今後の取り組み方針</b>		
様々な機会を通じて県内の各支援機関との連携により、事業の周知を図るとともに、事業承継の普及啓発に努めることとする。		



評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目、使途の点検評価	<input type="radio"/> 支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者については、組織体制や実績、知識等を勘案した上で審査委員会により選定しており、妥当と考える。また、補助事業の採択に当たっては、事業内容を審査会にて、審査の上で決定しており、妥当と考える。
	<input type="radio"/> 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模や使途等については、その必要性について事業目的から勘案し予算要求時に適切に計上した。また、額の確定時は適切に精査し、適正であることを確認した。
	<input type="radio"/> 受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金の補助率は、国の事業承継引継ぎ補助金と同様に2/3に設定しており、負担関係に係る考え方については妥当であると考えられる。
	<input type="radio"/> 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	